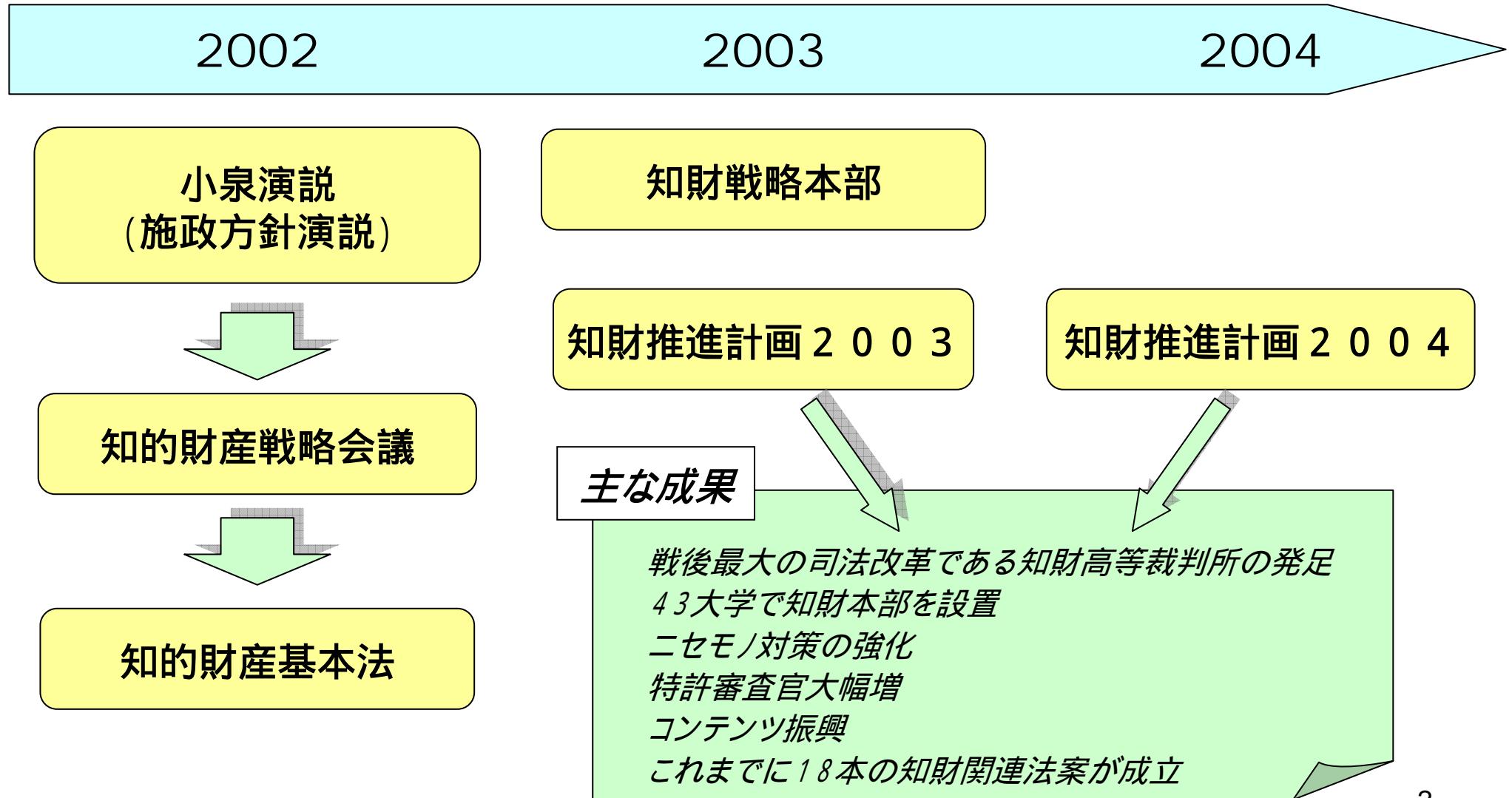


知的財産推進計画2005(案)のポイント

2005年6月10日

急速に進んだ知財戦略



「知的財産推進計画2005(案)」のポイント

- 1 模倣品・海賊版対策の抜本的強化
- 2 世界をリードする知財制度の構築
- 3 中小・ベンチャー企業を支援
- 4 官民による戦略的な国際標準化活動
- 5 文化創造国家づくり
- 6 知財人材育成の総合戦略の推進
- 7 产学官連携の加速化

1 模倣品・海賊版対策の抜本的強化

● **模倣品・海賊版拡散防止条約を提唱する**

- ・模倣品・海賊版の輸出・通過の禁止や犯罪収益の没収を核とする拡散防止条約を提唱し、実現を目指す

● **インターネットオークションを通じた模倣品・ 海賊版の被害を防止する**

- ・2005年6月末を目途に、特定商取引法の運用を強化し、業界の自主規制ルールを整備する

2 世界をリードする知財制度の構築

- **世界特許を実現する**

- **世界特許を実現する**
 - ・世界特許の実現に向け、米・欧特許庁と重複的なサーチ(従来技術文献調査)を行わずに特許審査を進めるシステムを構築する

- **技術流出を防止する**

- **技術流出を防止する**
 - ・特許出願による技術の意図せざる海外流出問題が深刻化しており、自己の技術を防衛する制度を整備する

3 中小・ベンチャー企業を支援

- **中小・ベンチャー企業の知的財産を守る**

- ・弁護士、弁理士の情報提供・相談を強化する
- ・産業界による中小・ベンチャー企業の知財を尊重する知財憲章の策定を促す
- ・大企業による知財侵害から中小・ベンチャー企業を守るために「知財駆け込み寺」を整備する

- **地域の知的財産戦略を支援する**

4 官民による戦略的な国際標準化活動



特許技術の共同利用を促進する

- ・国際標準化に不可欠な特許技術の共同利用について、独禁法上の扱いを明確化する



国際標準化に逆行する動きを阻止する

- ・WTO違反の恐れのある外国の国内規格策定の動きに対して改善を要請するなど、官民による対応を強化する

5 文化創造国家づくり

● **日本ブランドを振興する**

- ・食・地域ブランド・ファッショ nなどのライフスタイルを、日本ブランドとして振興する
- ・観光や文化外交と連携しながら、海外に発信する

● **コンテンツ流通大国を実現する**

- ・世界最高速のインターネット環境を活用して、映画や放送コンテンツの流通を飛躍的に拡大する
- ・業界の近代化・合理化を促進する

6 知財人材育成の総合戦略の推進

- ・知財に強い弁護士や国際性を備えた弁理士の育成
- ・法科大学院における知財教育の推進
に加え、

- **知財人材の質の向上を図り、10年間で倍増する**

- ・多彩なスキルを持ち国際的に通用する人材を、10年間で6万人から12万人に倍増する
- ・技術に強い法曹人材を育成する

- **理系人材の知財分野への参入を支援する**

7 産学官連携の加速化

(これまでの進展)

- ・大学等の特許出願件数(1999年度 2003年度で6倍)
- ・大学等のロイヤリティー収入(1999年度 2003年度で7倍)
- ・大学発ベンチャー(2004年度末で1112社)

- **研究における特許技術の使用を円滑化する**
- **産学官連携の体制やルールを整備する**
- **産学官連携の契約を弾力化する**